

放課後等デイサービス真愛南大分 自己評価結果（公表）

公表：令和8年2月27日

放課後等デイサービス真愛南大分

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		利用者数や活動に応じて、机の配置を変更してスペースを確保している。クールダウンスペースや学習スペースも確保している。	今後も利用者の人数、活動の内容に応じたスペースの確保を行う。学習環境も充実を図る。
	2	職員の配置数は適切である	9		配置基準は満たしており、利用人数によって職員の数进行細かく調整している。	配置基準を満たすことはもとより、適正な職員の配置と職員間の連携により、送迎時間帯やトイレ介助が重なった時などにも対応していきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9		室内に大きい段差はなく、トイレには手すりも設置している。	現状維持で問題ないと思われる。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9		毎日のミーティングにより問題や課題、支援についての工夫を話し合っている。	毎日のミーティングで共通理解を図っており、その議事録により全職員への周知が出来るようにしている。今後も継続していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		評価アンケートを活用すると同時に、保護者様から気軽に意見をもらえるように連絡ノートも活用している。	今後も保護者等向けアンケートの活用、連絡ノートの充実を図りながら意見を把握し、必要に応じて業務改善を行っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9		ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	7	現在、外部評価は行っていない。	今後、必要に応じて検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		社内研修や外部研修を行っている。	継続して研修の機会を設けていき、職員の資質の向上に努める。
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		担当者会議や保護者様から十分な聞き取りを行ったうえで、支援に携わる職員の意見を聞き作成している。	引き続き、適切なアセスメントを行っていき、放課後等デイサービス計画の作成に努める。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		社内のアセスメントツールを使用している。	引き続き、アセスメントツールを使用し、子どもの適応行動の状況把握していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		職員で意見を出しながら活動プログラムの立案を行っている。	引き続き、職員間で意見を出し合いながら活動プログラムの充実を図っていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		子どもの発達に合わせたり、新しいアイデアが出るように話し合いを行っている。	毎月1つは新しい活動を取り入れるようにしている。今後も、季節の行事を取り入れたり、子ども達の発達に合わせた活動を工夫していきたい。

放課後等デイサービス真愛南大分 自己評価結果（公表）

公表：令和8年2月27日

放課後等デイサービス真愛南大分

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9		休日や長期休暇等は時間をかけて取り組める課題を設定したり、お出かけやお買い物体験で室内では出来ない活動を設定している。	引き続き、平日、休日、長期休暇に応じてきめ細やかに設定していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9		普段の過ごす様子を観察し、職員で意見を交換しながら子供の状況に応じた計画を作成している。	引き続き、子ども達の様子をよく観察し、状況に応じた放課後等デイサービス計画を作成する。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		毎日必ずミーティングを行い、その日の支援についてや役割を話し合っている。議事録を作成し、共有している。	引き続き、毎日のミーティングを行っていくが、長期休暇など、その時間の確保が難しい場合もある為、対応を考えていきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		支援終了後に振り返る時間を設けて、情報共有している。	引き続き、支援後の振り返りを行っていき、議事録に記録し、共有していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		活動記録票で利用者ごとの記録を作成している。	引き続き、正しく記録をとり、職員全員で支援に関して検証・改善に努める。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		定期的なモニタリングや保護者様とのやり取りを通じて、放課後等デイサービス計画の見直しの判断をしている。	引き続き、定期的なモニタリングや保護者様とのコミュニケーションを大事にし、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を検討する。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9		季節の活動や創作活動、日常的な基本動作を取り入れた活動などを、複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している。	引き続き、厚生労働省のガイドラインの基本活動を指針とし、継続していきたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		管理者や児童発達支援管理責任者が参加している。	引き続き、管理者や児童発達支援管理責任者が参加していく。状況に応じて他の職員が参加する可能性もある。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9		学校との情報共有は必要に応じて行っている。下校時間の確認は週案を確認したり、学校HPで確認をしている。	引き続き、学校との情報共有や連絡を取りながら、連携を図っていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	8	現在、医療的ケアが必要な子どもの受け入れはしていない。	

放課後等デイサービス真愛南大分 自己評価結果（公表）

公表：令和8年2月27日

放課後等デイサービス真愛南大分

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	2	相談支援事業を通じての情報共有はされている。	必要に応じて、速やかに対応していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9		必要に応じてこれまでの情報を提供し、連携を取っている。	引き続き、必要に応じて情報提供し、連携を図っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	1	研修の機会があれば参加している。	過去に助言を受けたケースはあったが、現在は特に行っていない。必要があれば検討していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	8	現在、交流する機会はない。	地域のイベントに参加した事はあるので、機会があれば参加を検討したい。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	2	7	現在、参加はしていない。	今後、検討していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		日頃からデイ日誌や連絡ノート、送迎時等に、保護者様とは子どもについての共通理解を図っている。	引き続き、保護者様との共通理解を図りながら連携を取る。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	7	現在、行っていない。	今後、検討していきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約時に契約書や利用のしおりを使って、細かく説明を行っている。	引き続き、丁寧な説明を心がけていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		保護者様方のご相談があった時は、その子に合ったアドバイスや支援を行っている。	引き続き、ご相談に応じて対応していきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		9	現在、行っていない。	保護者様からの要望が多くあれば、検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9		子どもや保護者様からの申し出があった際は、職員間で話し合い速やかに対応している。	引き続き、子どもや保護者様からの申し出があった際は、速やかに対応していきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	3	毎月の活動予定表や毎日の様子の写真を各家庭にお配りしている。	利用時の様子を写真でお渡しする為、家庭での管理が難しいという声も聞かれる。情報提供の方法や媒体は今後検討していきたい。

放課後等デイサービス真愛南大分 自己評価結果（公表）

公表：令和8年2月27日

放課後等デイサービス真愛南大分

保護者への説明責任等	35	個人情報に十分注意している	9		個人情報は鍵付きの棚に保管し、処分する時はシュレッダーにかけている。	引き続き、個人情報の取り扱いには気を付けていきたい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		子どもには視覚支援などを用いて、伝わりやすいように配慮している。保護者様にはメールでの連絡を取り入れて対応している。	利用者との意思の疎通や情報伝達の手法について職員が学び続けることに加え、保護者との情報共有を図っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	7	現在、特に行っていない。	今後、検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9		各種マニュアルを作成し、職員には周知し、保護者様には計画説明の際などにご説明している。	引き続き、周知徹底していきたい。保護者様からのお尋ねや要望があればきちんとご説明できるようする。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		6か月に一回、避難訓練と職員への研修をしている。	引き続き、定期的な避難訓練と研修を行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		1年に1度外部研修の内容を社内研修に取り入れ、意識の向上と情報共有を図っている。	R8.1に虐待防止・身体拘束適正化の研修を行った。今後も、継続して行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9		保護者様には契約時にご説明をし、必要に応じてその都度説明をしている。	身体拘束を行う場合には、事前に保護者様への十分な説明を行い、職員間で話し合いながら、身体拘束をなくす取り組みをしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9		契約時に保護者様からの聞き取りを行い、それに基づき対応している。	引き続き、食物アレルギーに関しては、保護者様と情報共有しながら対応していく。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		事案が起きた際は、職員間で話し合いをし、ヒヤリハット事例集を作成し、共有している。	引き続き、ヒヤリハット事例集を作成していく。大きな事案に発展しないように、またヒヤリとする場面の再発防止に向けての話し合いも重ねていく。	